



H.C.R.

<https://hcr.or.jp>

International Home Care & Rehabilitation Exhibition



H.C.R.2026

2026年は高齢社会の深化、人口減少の本格化、地域の関係性の希薄化という課題が一層鮮明になる年です。こうした情勢ゆえに、福祉を基盤とした地域社会の再構築による地域のつながり、支え合いがより必要となってまいります。

そのため、地域包括ケアの推進という医療・介護・福祉の連携と体制づくり、高齢者の権利擁護、認知症対策、介護予防、健康増進、そして誰もが包摂される社会の実現がそれぞれの地域の特性をふまえた課題となってまいります。

とくに高齢化率が30%に迫っているなか、介護保険サービスの利用者は530万人を超え、在宅での介護ニーズや自立生活を支える支援が今後ますます増えてまいります。

増加する介護需要に対して、介護人材の確保が厳しい状況にあります。約60万人の働き手不足が予測される2040年を見据え、さま

CONTENTS

H.C.R.2026 開催にあたって	1	6 H.C.R.特別企画	3-5
H.C.R.2025 報告		7 Web展情報	5
1 オープニングセレモニー	2	8 出展社プレゼンテーション	
2 来場者数12万人超え		9 広報・PR活動	
3 出展社数414社・団体		10 来場・移動支援や情報保障の取り組み	
4 國際シンポジウム		11 来場者アンケート結果	6
5 セミナー	3	12 出展社アンケート結果	7
		H.C.R.2026 出展社募集開始	8

編集・発行:



一般財團法人
保健福祉広報協会
HEALTH AND WELFARE INFORMATION ASSOCIATION

住所: 〒100-8980

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

社会福祉の実践と機器の融合が
地域共生社会の実現を拓く!

ざまな労働力を確保しつつ、質の高いケアを提供することが重要な課題であり、福祉機器は大きな役割を持っています。

しかしながら、福祉・介護現場等での福祉機器の利活用は、まだまだ進んでおりません。特にICT導入やデジタル技術の活用はケアを補助し、事務的負担軽減をはかるために積極的に導入していく必要があります。福祉・介護施設等での記録業務の効率化、安全を支えるセンサー連動型見守りシステム、AI活用の転倒予測など、国がICT導入を推奨しています。

H.C.R.では最新の技術や製品が展示され、現場のサービスと融合することで新しい出会いや発見が生まれます。こうしたのものが、誰もが自立し、支え合って過ごせる「地域共生社会」へつながることが期待され、より一層福祉機器への関心が高まっています。

H.C.R.2026 —クリエイティブな未来を拓く— 東京ビッグサイト東ホールで開催

H.C.R.2026、第53回国際福祉機器展＆フォーラムを東京ビッグサイト東ホールで開催いたします。昨年のH.C.R.2025は、おかげさまで10か国1地域から400社を超える企業・団体にご出展をいただき、3日間で12万人にご来場をいただきました。展示会の開催にご協力をいただきました関係者の皆さんに心より御礼を申しあげます。

H.C.R.の目的は、高齢者や障害のある方を含む、すべて人々が安心して暮らせる地域社会の実現、自立生活、ケアの質の向上に資する、最新の福祉機器の実展示と情報発信であります。さらに、社会福祉の最新トピックを紹介するセミナー、障害者福祉に焦点をあてた国際シンポジウム、ケアを担う現場職員のスキルアップ・事故防止への対応を図るための専門講座、人材確保のためのふくしの魅力発信等、来場されるさまざまな分野の方々の情報交流の「フォーラ

ム」として、多彩な企画を予定しています。

また、WEB展も引き続き開催し、場所や時間を問わずいつでもだれでも手軽に情報入手できる利便性を活かした情報発信を行うとともに、リアル展と連動した便利な機能も充実させてまいります。

H.C.R.2026は、10月7日(水)～9日(金)の3日間、東京ビッグサイトの東1、2、3、7、8ホールでの開催となります。東京ビッグサイトの展示施設の改修工事のため会場利用に影響がありますが、ゾーンレイアウトや来場導線に十分配慮して企画運営に努めてまいります。出展企業等関係者の皆さんにおかれましては、引き続きのご理解とご出展をよろしくお願ひいたします。

※出展募集の詳細は、P8をご覧ください